科名　　血液内科　血154

対象疾患名　小児および若年成人におけるT細胞性急性ﾘﾝﾊﾟ性白血病(成人)

プロトコール名 JALSG T-ALL211-U 早期強化療法(IB)

Rp	形態	ルート	薬剤名	単位		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
1	点滴	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓																												↓
2	点滴	側管	エンドキサン注	1000mg/㎡	1時間かけて	↓																												↓
			生理食塩液	500mL																														
3	点滴	側管	ソルコーテフ注	100mg	30分かけて			↓			↓				↓			↓				↓			↓				↓			↓		
			生理食塩液	100mL																														
4	筋注		ロイナーゼ	5000U/㎡				↓			↓				↓			↓				↓			↓				↓			↓		
			5%ブドウ糖液	2mL																														
5	点滴	側管	キロサイド	75mg/㎡	15分かけて			↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓				↓	↓	↓	↓		
			5%ブドウ糖液	50mL																														
6		内服	ロイケリン散	60mg/㎡	眠前	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
		髄注													↓														↓					

～MEMO～

・先行治療(血内152)、寛解導入療法(血内153)を行い、治療日数がday36以降であること。
・好中球数500/μL以上、かつ血小板数50000/μL以上であること
・day10,24に髄注を行う。
《髄注量》
年齢 3歳以上に対し、「メソトレキセート 12mg、キロサイド 30mg、プレドニゾロン 10mg」を1本の注射器にまとめて髄注する。
メソトレキセートは、注射用蒸留水で溶解し、2.5mg/mLにする。プレドニゾロンは、注射用水に溶解し、10mg/mLにする。キロサイドは、必要量をシリンジにとる。

・キロサイド4日間連続投与ブロックは、各ブロック開始後は可能な限り中断せず、中断する場合は、全ての薬剤の投与を中断する。
・ロイナーゼ投与時には、毎回ヒドロコルチゾンを併用投与する。なお、体重20kg未満の患者の場合は、ヒドロコルチゾンの投与量を50mgとする。
・ロイケリン散を60mg/㎡1日1回眠前にday1-28まで服用。